



**共に!** ~生徒・保護者・地域・職員~

長崎市立三和中学校  
令和5年度学校だより No.8  
令和5年12月21日(木)  
文責 校長 赤塚竜造

**しわ(は)す = 師走**

⇒最後の月を迎え、“ことば”の意味を少し調べてみました。

今年の暦(カレンダー)も12月のひと月分となりました。

12月を「師走=しわす」と言いますが、今日はその意味・由来についてご紹介します。実はいくつかあるそうですが…。

そもそも「しわす(しはす)」という言葉は、いつからあったのでしょうか?なんと古くは、万葉集や日本書紀において12月のことを、「しはす」と読んでいる記述があることがわかっています。その言葉に、後に「師走」という漢字を当てた、と言われていました。その漢字の種類はいくつかあるようですが…。皆さんも「先生(師)が走りまわるほど忙しいから」という説は、聞いたことがあるのではないのでしょうか?それはもちろん間違いではなく、「お坊さん(師匠)が、あちらこちらと馳せまわるほど忙しい月」から「師馳す(しは=わす)」になった、という説が現在一番有力のようです。他にもいくつか紹介しますと、「今年1年の終わりに、やるべきことは全部なし終える」という意味から「為果つ(しはつ)」がもとになっているという説。「冬は四季が果てる月」という意味で「四極つ(しはつ)」から、さらに単純に「年が果てる」から「年果つ(としはつ)」になって「しわす」と、さまざまな意味が当てられているのです。

では、師走がなぜ忙しいのか?「ところで、お坊さんって年末忙しいんでしたっけ?」という疑問はないのでしょうか。昔の師走が忙しい理由は?先祖供養?実は、現在はお盆などになっていますが、過去には人々はお正月にも先祖供養をしていたのだそうです。そのために師(お坊さん)がひっぱりだこで、忙しくあちらこちらと走りまわっていたようなのです。現在はそのような習慣は少なくなったようです。

12月といえば、クリスマスや学習(仕事)のまとめ、年末の大掃除にお正月の準備など何かと行事が多く忙しいと感じていると思います。心(りっしんべん)+亡くす=忙。毎年「忙しくて(いろいろなことが…)終わらなかった!」ということがあると思います。私たちは“心を亡くす”ことなく、この1年を振り返り、身の回りの整理整頓、心や頭の大掃除もして新年につなげるようにしていきましょう。

**三中2学期の軌跡**

2学期、たくさんの行事や学習に三中生はがんばりました!

○9月

☆【地域学校保健委員会による講演会の開催】

演題「ちゃんと見えているかな?ビジョントレーニングを通して」  
オプトメトリストの中村尚広先生による講話で、実技などもあり楽しくてためになるお話でした。



☆【合唱コンクール】

どの学年も練習から熱が入っており、当日は素敵なハーモニーを披露しました。「賞」をとる・とらないに関わらず、学級が1つになって取り組めたことはきっと最高の思い出に…。



○10月

☆【市中総体駅伝競技大会】

夏休み前から練習に取り組み、男女ともに大健闘(男子第2位・女子第9位)。  
男子は県大会に出場し、“三中魂”をフルに発揮しました。マネージャーもありがとう!

